

「よりよい学校をつくるためのアンケート」のまとめ

校長 松田 隆

「よりよい学校をつくるためのアンケート」にご回答いただき、ありがとうございました。集計結果を以下のとおりにまとめましたので、お知らせします。

今年度のアンケートは、昨年の回答率47%から56%に上昇しました。ご協力ありがとうございました。保護者の皆様の貴重なご意見は来年度の計画に生かし、飛田給小学校の教育活動をより良いものにしていきます。

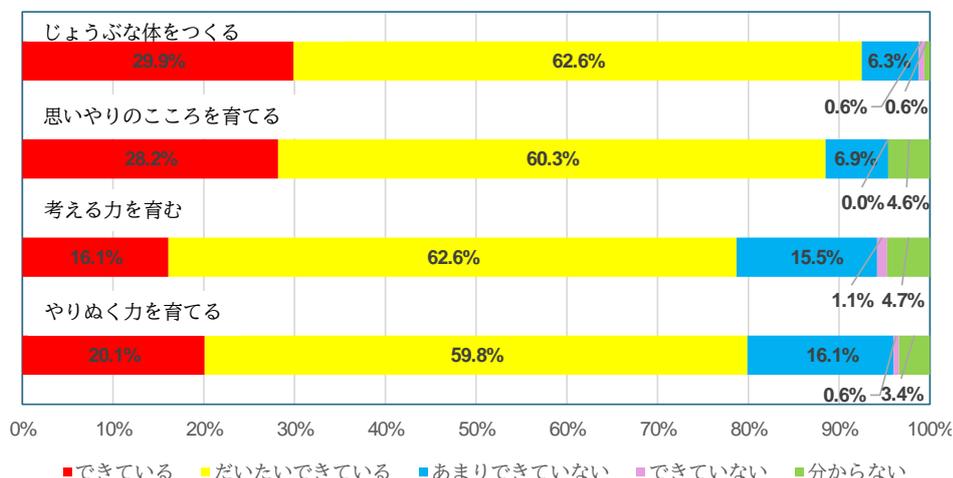
1 学校の教育目標について

「じょうぶな体をつくる」では「できている」、「だいたいできている」という肯定的な回答が92.5%でした。『令和6年度東京都児童・生徒体力・運動能力、生活・運動習慣等調査』では、昨年度の課題であった持久力、瞬発力、柔軟性のうち、持久力と瞬発力が大きく上昇しました。全校で取り組んでいるマラソンや大縄跳びなどの体育行事が体力向上につながっていると考えます。今後は、柔軟性を高める取組とともに、運動の楽しさをさらに実感できる体育科の授業や体育行事を通して、じょうぶな体づくりを進めていきます。

「思いやりのこころを育てる」については、肯定的な回答が88.5%でした。開校以来受け継がれている人を敬い、多様性を尊重する「ゆずりの心」がアンケートの高い評価に表れています。今後も道徳科の授業や学校2020レガシーとして行っている様々な障害者理解教育、外国人留学生との交流を中心に、すべての教育活動で思いやりの心を育てていきます。

「考える力を育む」については、肯定的な回答が78.7%で、昨年度と同程度の結果となりました。本校では、令和3年度から「児童の思考力、判断力、表現力の育成」をテーマに、国語科の授業に焦点を当てた研修や実践授業を行ってきました。これらの取組により、児童の発言や文章に考える力の高まりが表れています。今後も研修や授業実践で得た取組を継続するとともに、「個別最適な学び」や「協働的な学び」を推進し、「考える力」のさらなる向上を目指していきます。

「やりぬく力を育てる」では、肯定的な回答が79.9%とこれも昨年度と同程度の結果でした。授業・学習面の「見通しをもって、粘り強く取り組む力が身に付いている」は、肯定的な回答が62.1%で昨年度よりも10%低下しました。全校児童を対象にした意識調査においても、約3割の児童が粘り強く取り組むことに苦手を感じているという結果でした。学校では教師が児童一人一人への適切なサポートのもと、励ましなどの肯定的な声掛けを行い、児童のやり抜く力、粘り強く取り組む力を育てています。今後は、様々な経験を通して児童に自信をもたせるとともに、課題に対して前向きに捉えるように促しながら、やり抜く力、粘り強く取り組む力をさらに高めていきます。

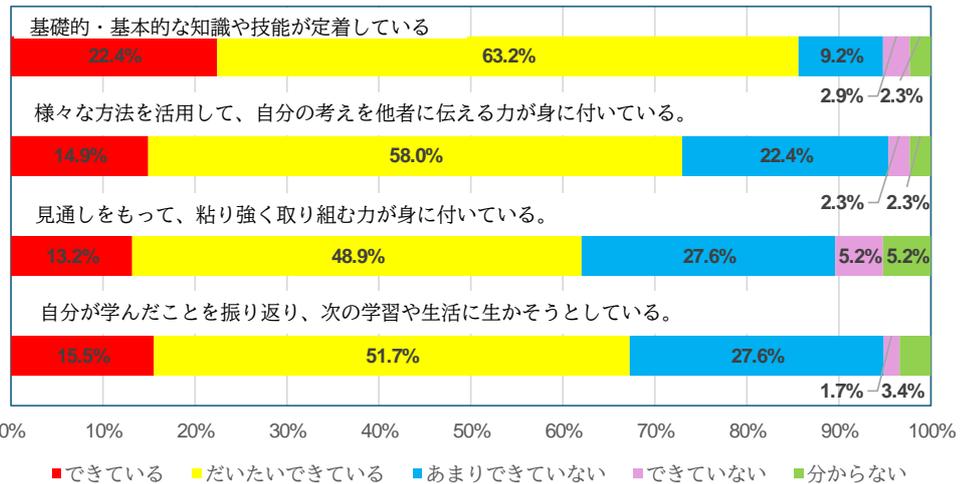


2 授業・学習面について

「基礎的・基本的な知識や技能が定着している」の肯定的な回答は、85.6%で昨年度同様評価が高く、3年生以上の一部教科担任制やタブレット端末の効果的な活用、保護者の方々と連携した家庭学習が成果の大きな要因と捉えています。

「様々な方法を活用して、自分の考えを他者に伝える力が身に付いている」の肯定的な回答は、昨年度と同じ72.9%でした。苦手意識をもつ児童が少なくないことから、学校としても課題と捉えています。プレゼンテーションやディベート、グループディスカッションといった話して伝える方法や、作文やポスターを文章や絵を用いて伝える方法を、児童の発達段階に応じて経験できるようにするとともに、自分に合った伝達方法を選択できるような学習環境に工夫していきます。

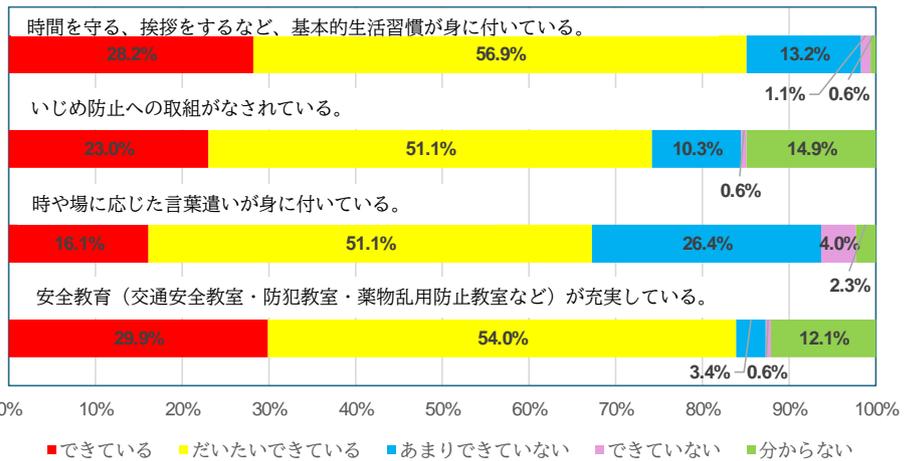
「自分が学んだことを振り返り、次の学習や生活に生かそうとしている」は、昨年度に比べて評価が下がりました。すべての学年で学びの振り返りを充実させ、次時や生活への意識付けや学習の定着の確認を行っていきます。



3 生活指導について

肯定的な回答が、「時間を守る、挨拶をするなど、基本的な生活習慣が身に付いている」で85.1%、「いじめ防止への取組がなされている」で74.1%、「時や場に応じた適切な言葉遣いが身に付いている」で67.2%、安全教育が充実している」で83.9%でした。いじめ防止の取組について、児童が成長の過程で経験する交友関係のトラブルが大きいじめに発展しないよう、危機意識をもって取り組んでいます。お子様の友達との関わりについて、少しでも心配なことがありましたら、学校までご連絡ください。また、「わからない」の回答が14.9%と多く、学校のいじめ対応については保護者の方々に十分に伝わっていないことが分かりました。いじめ防止標語を全校児童で作成し、廊下に掲示して、全校集会で代表児童が発表したりするなど、児童が取り組んでいる活動についても、保護者の方々に積極的に発信し、理解を深めていただくよう努めます。

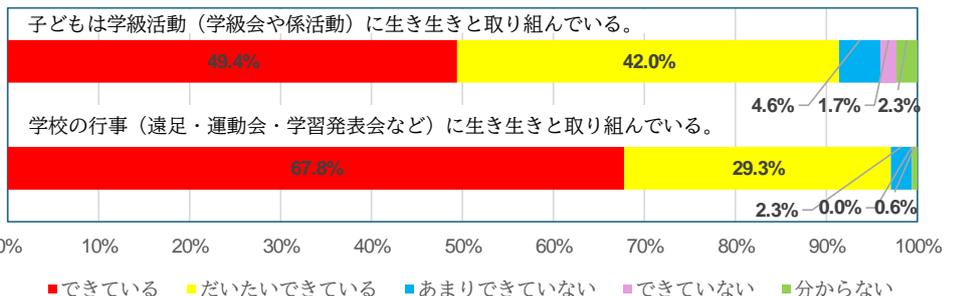
また、「時間を守る、挨拶をするなどの基本的な生活習慣」や「時や場に応じた適切な言葉遣い」、「善悪の判断」についても、やや課題があること分かりました。ご家庭の協力を得ながら、連携して指導を進めていきたいと考えています。ご協力のほど、よろしくお願いいたします。



4 特別活動について

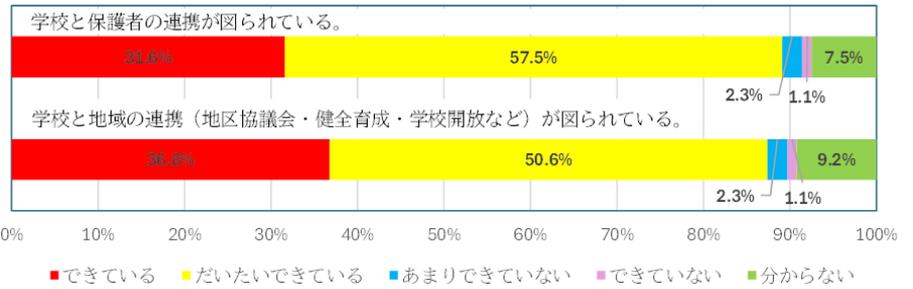
肯定的な回答が、「子どもは学級活動（学級会や係活動）に生き生きと取り組んでいる」で91.4%、「学校の行事に生き生きと取り組んでいる」で97.1%でした。

低学年から学級活動の話合い（学級会）のもと、学校全体で子どもたちが主体の学級活動を行っていることや常に児童を主役にした行事にと改善を図っていることが成果となって表れていると考えます。



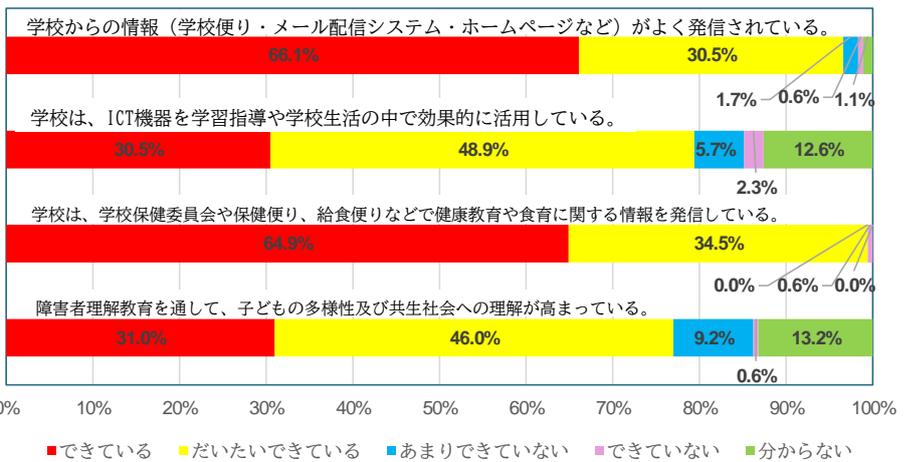
5 保護者、地域との連携について

肯定的な回答が、「学校と保護者の連携が図られている」で89.1%、「学校と地域の連携が図られている」で87.4%でした。どちらも昨年度より高い評価でした。今年度は、保護者の方々と連携した取組である「ステップルーム」や「ちょこサポ」、地域と連携した「学級地域運動会」や「デイキャンプ」などの地域行事が高評価の要因だと考えています。地区協議会、健全委員会、学校開放運営委員会、地域学校協働本部、PTA など多くの皆様に支えていただいているおかげで安心して教育活動を進めることができます。



6 その他

肯定的な回答が、「学校からの情報がよく発信されている」で96.6%、「学校は、ICT 機器を学習指導や学校生活の中で効果的に活用している」で79.4%、「学校は、学校保健委員会や保健便り、給食便りなどで健康教育や食育に関する情報を発信している」で99.4%、「障害者理解教育を通して、子どもの多様性及び共生社会への理解が高まっている」が77%でした。



「学校からの情報がよく発信されている」は、昨年度よりも4.2%上昇しました。学校HPで学校の生活の様子を多く発信してきたことに加え、今年度から学校からの主なお知らせをすぐーで配信にしたこと、保護者の方々に関係する行事などをこれまで以上に早くお知らせしたことが、よい評価につながっていると考えます。今後も取組を継続していきます。

「学校は、ICT 機器を学習指導や学校生活の中で効果的に活用している」においても、昨年度より6.5%上昇しました。この結果は、全学年でタブレット端末の活用機会が増えたことや、タブレット端末を利用した授業の様子を公開したことが、評価の上昇につながったものと考えます。今後は、教員の活用方法の研究や、ICTスキル向上を図る研修を行うとともに、タブレット端末を利用した個別最適な学びや協働的な学びの機会を増やしていきます。

7 ご意見

生活について

○1学期はあゆみの所見欄がなくなったので、子供が学習以外で、どのような事を頑張ったりしたのかわからなかったのが残念でした。面談では、他の相談事などもあり詳しく聞けなかったりしますし、子供自身も楽しみにしていたので、先生方にはご負担かもしれませんが、やはりあった方がいいと思いました。
→今年度からの変更でしたが、学習、生活の総まとめを行う学期末に、子どもたちと向き合う時間が大幅に増えたという顕著な成果がありました。職員からは、これまで推敲を重ねながら文面でお伝えしていたお子様の成長が、面談で直接保護者の方に詳しく話すことができた、という報告もありました。それだけに、面談の時間のもち方がこれまで以上に大切であるといえます。なにとぞ変更の趣旨をご理解くださるようお願いいたします。

○朝の登校時間をせめて8:00～8:25に戻していただきたい(一昨年までは7:45～8:25でした)。現状の8:15～25では、昇降口が混み過ぎて危険に見える。また多くの子供達は今でも8:00前から(昇降口の)開門を待っている、熱中症や防寒面も考慮いただきたい。それと、前任の校長先生は毎朝8:30頃まで校門に立たれ、地域の方とお話しされていたり、少し遅れてくる(元気の無さそうな)子供達に声かけし状況を把握されていたが、現在は難しいのでしょうか？加えて朝校門に立たれるシルバー人材の方も、遅れてくる子供達に気付いても座っているまま(横の扉を開けるでもなく)の方も散見される。朝、様々な理由で遅れてくる子供達を、(付き添いまでしなくとも)校内へ誘うのも、まだ小学生の子供達を『見守る』大人の役割ではないのでしょうか。

→朝の登校時刻については、児童が一人になることがないように、できるだけ同じ時刻に登校することを考慮して設定しています。コロナ禍の折には、反対に密を避け、分散を図るために登校時刻を拡大した、という経緯があります。混雑による危険を防止することについては、校内でよく検討します。

令和7年度中に、調布市の施策として、早朝見守り事業「みまモーニング」がスタートします。詳細が分かり次第お知らせします。

○先生方の作業効率化には強く賛同しますが、担任の先生からのコメントや連絡が少ないため不安に思うことがあります。クラスルームでの子どもたちへの情報共有以外でも、先生のコメントなどをいただくと、ありがたいです。

→子どもたちへの支援、励ましや、学習の価値付けは、一人一人に声を掛ける、ノートやプリントにコメントを書き入れる、タブレットを活用する、学級だよりを発行するなどの様々な方法があります。子どもたちはもちろん、保護者の方にも伝わる方法を工夫するよう努めます。

学習について

○不登校児童に対する学習法がなく登校せずに学習を進める取り組みを検討してもらいたい。

→今年度は、学校とのつながりを少しでも増やすことを目指し、居場所づくりに力を注ぎました。地域学校協働本部のご尽力により、予想を超える多くの方に支援員のお申し出をいただき、9月末から週2回の「ステップルーム」をスタートすることができました。学習については、それぞれのご家庭とよく相談し、オンラインなども含めて児童に合った支援の手立てを検討していきます。

○基礎的な教育はとても大切だと思いますが、授業内で子供の興味関心を刺激する工夫がなされていたのか少し疑問に思いました。授業公開等の様子を見ても、高学年のお子さん向けの淡々とした授業に感じたので、低学年の子供の集中が持つのか不安に思いました。ただ、日々お忙しい中、特性のある息子に合った声かけを心がけていただいたことは非常に感謝しております。ありがとうございます。

○いつもお世話になっております。既にご尽力いただいていることは存じておりますが、低学年でも落ち着いて学習できる環境を整えていただきたいです。

○どの学年でもですが担任の話をきちんと聞く授業規律を定着していくことで担任との信頼関係が深まると思う。

→学校公開などで実際に授業をご覧いただき、改善点なども含めてご意見をいただくことは、子どもたちをよりよく育てることを目指し、ご家庭との連携をより深めていくためにも大変ありがたいことです。特に、学習規律の定着は、全校共通で大切です。重点を置いて指導していきます。

○参観時、昨年に比べて授業中静かで集中できていると感じた。プールの授業ができるようにしてもらいたい。八ヶ岳の時など、大雨の時はバスまでの移動方法を検討してもらいたい。

→校外学習や宿泊行事などの借り上げバスについては、バスが学校まで乗り入れることができず、品川道で乗降しなければならないことが本校の悩ましい問題です。小型バスのピストン輸送なども現実的ではなく、改善策が見付からない状況です。10月の5年生八ヶ岳移動教室では、出発時に激しい雨が降っていましたが、見送りの保護者の皆様に見守っていただき、安全に出発することができました。

○図書について、高学年になると図書の時間が少なくなるのに2冊しか借りられないので、もっと借りられるようにしてほしいと、子供が言っていました。かつて、飛小は調布市で1番読者数が多い学校というのを公言していたと思います。今の子供達はタブレットに頼っていて本を読まない、読書の機会を作ることが出来る小学生のうちに、読書の習慣をつけた方が良くと思います。

→児童の読書意欲を高め、習慣付けることの必要性についてのご意見、ありがとうございます。借りた本を最後まで読みきって返すことを意識付けることや、貸し出し、返却のサイクルが滞らないようにすることを意図して、1回の貸し出し冊数は少なめに設定しています。もっと読みたい児童は、休み時間に返却、貸し出しを行うことができます。児童数が多い学校のように曜日の割り当てをしたりせず、いつでも行けることが本校の良さです。

行事について

- 学習発表会も後から時間差をつけて入場できるようにして、他学年の鑑賞も観ることができると嬉しい。
- ご提案ありがとうございます。学年により違いはありましたが、今年度はどの学年も若干の空席がありました。座席数に限りがあること、入れ替え時間が長くないようにすることなど課題はありますが、次年度の運営方法について検討します。
- 学習発表会素晴らしかったですが、緑ヶ丘小学校の「パフォーマンスとしての質を上げる」体験を非常に羨ましく思いました。それよりも重視していることがあるのかもしれませんが、それであればなにを重視しているのか改めて伺いたいなと思いました。
- 学習発表会では、舞台発表、展示発表を通して、児童が表現することを楽しみ、自分の良さや可能性に気付くこと、互いの作品や発表を鑑賞し合って、友達の良さに気付くこと、仲間と協力し、やり遂げることで、達成感を味わうことなどを目指して取組を進めました。学年の発達段階に合わせて、できるだけ児童の発意、発想を取り入れるよう各学年で工夫しました。他校との情報交換を心掛け、良い取組や新しい試みなどは積極的に取り入れていきます。
- 授業公開に都合により参加出来ない保護者様方が多いのは仕方ないかと思うのですが、授業中普段の様子を保護者の方が観たほうがいいのかと思う生徒さんもいるので、普段の自然な様子を録画や配信等で保護者に知ってもらえる機会があればいいなと思いました。
- 学校の教育活動について広く知っていただくための方策のご提案ありがとうございます。映像や画像については、児童の肖像権、個人情報を保護する観点から、学校公開などでの撮影をご遠慮いただいています。校外に発信して活用することについては、安全に実施することが可能であるか、慎重に検討します。
- 保護者会を月末月初以外に設定してもらえると嬉しいです。
- 学校公開などについて、曜日の偏りがないようにすることは配慮していましたが、月末月初を避ける、ということについては十分考慮していませんでした。他の学校行事、会議や教員研修などとの調整が必要なため、難しいかもしれませんが、次年度計画で検討します。

ICTについて

- ICT活用や理論的な思考については、小学生には難しいことも要求されているようにも年々感じています。子供が成長とはまた違う、小さな大人化していくのを近年感じています。先生方も是非楽しんで、子供達と関わっていただき、子供が子供らしく伸び伸び過ごせるよう、見守っていただけたらなと想います。
- iPad利用ルールや学校での保管方法など検討が必要ではないかと子どもたちの授業の様子を拝見して感じました。学校、先生方には日々子どもたちの為にご尽力いただき感謝申し上げます。
- iPadを壊される、隠されるなどの問題がありましたので、保管の仕方を熟慮頂きたいということと、生徒たちにも、貸与されているもの、大切に扱わないといけないものだということを改めてご指導頂きたいです。お忙しい中、恐縮ですが、どうぞよろしく願いいたします。
- デジタル教科書など、必要に応じてICT教材をもっと活用して欲しい。
- 6年生については概ね出来ていますが、1年生については集団生活を守る事が精一杯な様子です。またタブレットの使用ルールも守る事が難しく、かつ授業で活用する機会も少ないと思います。もう少し使用ルールが守れる学年までは貸与しなくてもいいのではと思ってしまいます。また低学年の1クラス人数がもう少し少なければと思います。

→変化が急激で、将来の予測が困難な時代にあつて、子どもたちにその変化に対応する力を身に付けさせることが教育に求められています。なかでも、デジタル機器を利活用する力を高めることはこれからの時代において必要不可欠です。そのためには、日常的に操作に慣れ、学習の様々な場面で活用していくことが大切ですが、一方で使い方を誤ると、人を傷付けたり、犯罪に巻き込まれたりすることにもつながります。学年の発達段階に応じて、危険性があることにも気付かせ、情報モラルを身に付ける指導を行っていきます。使い慣れてくると、機器を大切に扱う、ということがおろそかになることもあるので、この基本的なことについても繰り返し子どもたちに意識付けます。

○6年生の毎日の時間割や持ち物のタブレットでの連絡を生徒にまかせると、内容が間違っていたり配信されていない事が多々あり困るので担任でもチェックしてほしい

→ご指摘のとおり、担任が責任をもってお知らせする方法に改めます。

○タブレットを毎日持ち帰る分教科書を持って帰ってこないの、分からない問題があつた時教科書が見れないのは不便だと思いました。

→児童の負担軽減の観点から、家庭学習で使用するドリルや教科書など以外は学校に置いておくようにしていますが、児童により、必要な場合には持ち帰りを促す配慮も必要であることが分かりました。ご指摘ありがとうございます。

そのほかについて

○ホームページで学校生活の様子を楽しく読んでいます。宿題は親が丸つけしていますが、さらに先生が細かく見てくださっているようで（親が見逃した間違いも気づいてくれるなど）、ありがたく思っています。また日記の宿題に先生から毎回丁寧なコメントがつくので、やり甲斐に繋がっていると思います。これからもご指導よろしくお願いいたします。

○先生方、いつも大変お世話になります。何の教科でも振り返りを書いていて、書く習慣が付いてとても良いと思います。また、6年生は学級便りで日記や感想文を頻繁に紹介して下さるので、親はクラスの様子や子どもの考えていることが分かり、子どもは文章の書き方や友達の頑張りが分かるので本当にありがたいです。日々お忙しい中、マメに発行して下さって本当にありがたいです。真面目に一生懸命取り組める6年生に導いて下さって感謝しています。

○先生方には見守りや指導をして頂きありがとうございます。難しい時期の子ども達の指導は大変だと思いますが、相手の立場に立ち、気づける子ども達に育って欲しいと思います。今後もよろしくお願いいたします。

○いつもお世話になっております。これからの未来を担う児童たちの発育で一番大事な過程が小学校だと思っております。ぜひ飛田給小学校の先生方が、目指すべき児童の姿を共有し、学年クラスを超えた多くの大人の目で児童たちを育てていただきたく思います。引き続きどうぞよろしくお願いいたします。

○小さな事でもすぐに子どもたち本人に聞いて事態の把握をしてくれています。とても助かっていますし、安心して子どもを任せられています。ありがたいです！

○何事も、より良く改善するために日々努力してくださっているのを感じ、感謝しています。

○いつも大変お世話になりありがとうございます。ちょこサが等で学校に入る機会が増え、子どもたちの様子や先生方のご苦勞が以前に比べよく見えるようになりました。保護者会で先生方もお話しされていましたが、話を聞く姿勢や態度、言葉遣いは少し気になっています。学校だけでなく家庭でも継続して話していかないとけないと感じています。

○息子は学校が大好きです。お友達にも恵まれて毎日学校に行くことを楽しみにしています。先生方のあたたかなご指導のおかげです。本当にいつもありがとうございます。

○他の学校や他の子供を知らないのによくわからない。

→お忙しい中アンケートへのご回答ありがとうございます。温かな励ましの言葉もたくさんいただき、職員一同元気付けられています。いただいたご意見は、今後の教育活動をより良くするために生かしていきます。

【大縄タイムと大縄チャレンジ】

1月16日(木)から、中休みに「大縄タイム」を行いました。1月23日(木)の「大縄チャレンジ」本番に向け、子どもたちは寒さに負けず、元気に8の字跳びの練習に取り組んできました。

1月23日(木)の大縄チャレンジでは、どの学級も新記録を目指し一丸となって3分間の8の字跳びを行いました。全力で頑張った子どもたちは、皆清々しい表情でした。記録を記した賞状を各学級で掲示しますので、学校にお越しの際は、ぜひご覧ください。



【全学年共通のお知らせ】

～学校公開について～

実施期間 2月6日(木)、7日(金)、10日(月)

- ※公開は4校時の授業までです。給食準備中や給食中の参観はご遠慮ください。
- ※時間割予定の詳細は1月20日(月)配布の「授業公開のお知らせ」をご確認ください。
- ※保護者証と上履きと靴を入れる袋をご持参ください。靴は各自でお持ちください。
- ※自動車・バイクでのご来校はご遠慮ください。周辺道路は駐車禁止です。
- ※自転車で来られた方は、正面玄関前の通路に整理して駐輪してください。
- ※授業への集中の妨げとなりますので、ビデオ・写真撮影はご遠慮ください。

～マラソンチャレンジについて(再掲)～

日にち：2月7日(金)(学校公開期間中)

時間：1・2校時…3・4年
3・4校時…1・2年
5・6校時…5・6年

場所：校庭(雨天延期)

低学年は4分間、中学年は6分間、高学年は8分間と、学年の発達段階に応じて決められた時間を自分に合った一定のペースで走ります。保護者の皆様はトラックの外側での参観が可能です。温かな声援をお願いします。時間になりましたら校庭にお越しください。

～親子音楽会について～

<日程・時間>

2月19日(水) 14:15～15:00

<場所>体育館

詳細はPTAから配布のおたよりをご覧ください。

～保護者会について～

<日程・時間>

2月25日(火) 中学年 15:00～ 各教室

2月27日(木) 高学年 15:00～ 各教室

2月28日(金) 低学年 15:00～ 各教室

※多くの方のご参加をお待ちしています。欠席される場合は、事前に連絡帳やメールにてお知らせください。

～書き初め展について～

学校公開期間終了日の2月10日(月)まで、各教室の廊下に展示しています。お子さんが頑張って書き上げた作品を、ぜひご覧ください。

～持ち物の記名をお願いします～

冬は、マフラーや手袋などの防寒具を身に付ける児童が多く、それらの落とし物が増えています。防寒具一つ一つに記名がされているか、ご家庭で確認をお願いします。

～体力調査結果配布について～

体力調査結果の個人票を本日配布しました。お子さんの種目ごとのスコアが印字されています。ご家庭でご確認ください。